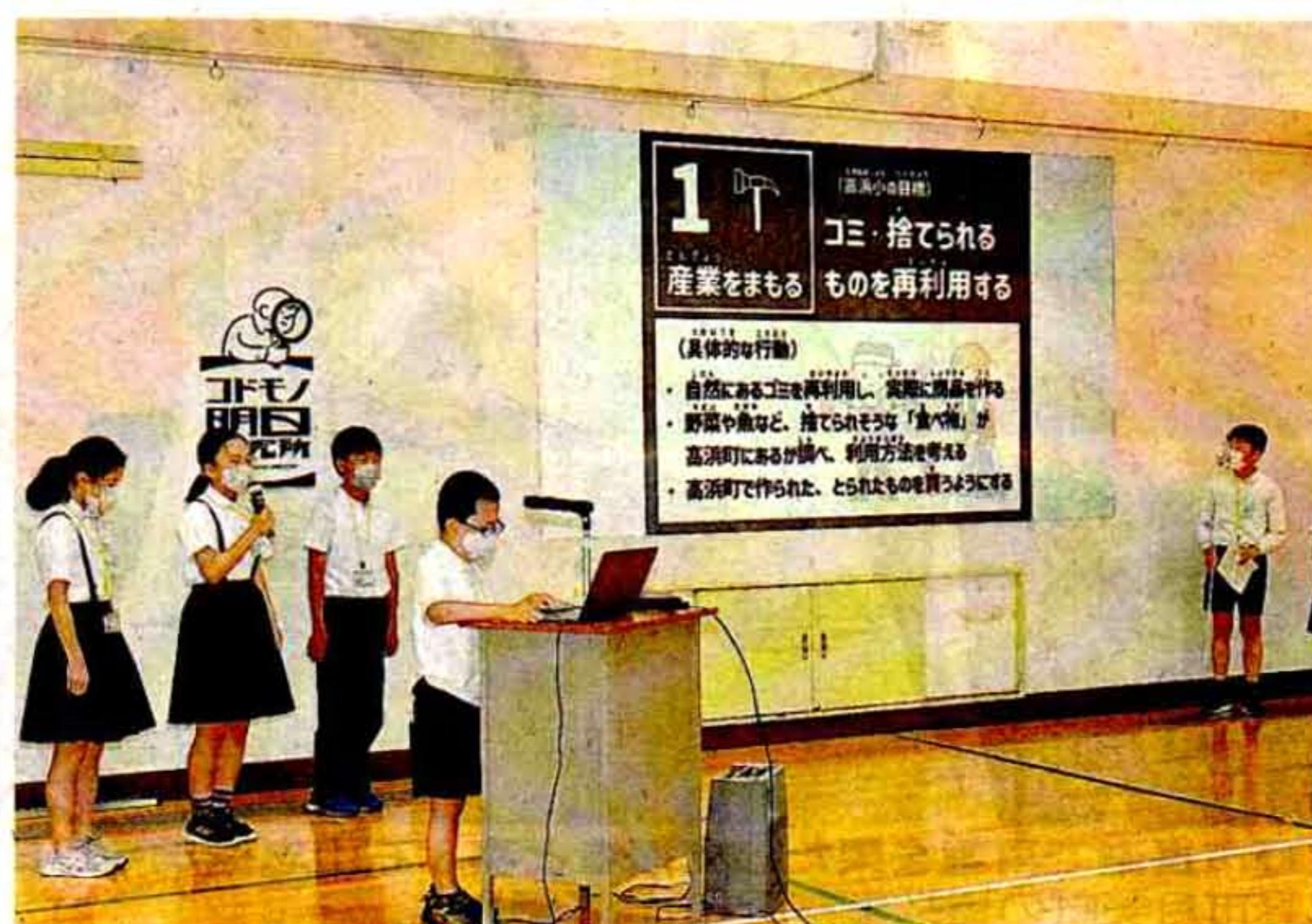


# まちの課題に 児童が解決策

高浜小5、6年生は13日、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を高浜町の課題に置き換えた「高小SDGs」を発表した。観光振興や産業活性化など、町が抱える地域課題と解決策を小学生目線で提案。地元のまちづくりグループ「高浜明日研究所」（明日研）と協力しながら、課題解決に向けた取り組みを進める。

（石川悠樹）

## 産業や観光、8分野提案



高浜町が抱える地域課題と解決策について  
発表する児童＝13日、高浜小

解決プランを秋ごろまで  
にまとめ実行に移す。また、  
昨年度の6年生が制作し  
たムラサキウニの殻のラン  
プ「UNIKARA（う  
にから）」の事業も引き継  
ぎ。時岡風歌さん（6年）

は「高浜町に住んでくれる  
人が増えるよう、少しでも  
自分たちにできることをや  
つていきたい」と話してい  
た。

## 高浜小 地元団体と実行へ

野菜や魚の部分の再利用な  
どを考えた。

同校が明日研とともに地  
域課題の解決を考えるプロ  
ジェクト「コドモノ明日研  
究所」の一環。誰もが住み  
やすいまちづくりや町内人  
口の増加などを目指し、産

業や観光、仲間づくり、伝  
統など八つのテーマを設  
定。児童はテーマごとの班  
に分かれ、2カ月ほどかけ  
て解決策を模索してきた。

全校児童約200人が参加  
した。産業をテーマにした  
班は、町内にある自然素材  
や廃棄される食材に着目。  
流木や貝殻を使った工作、  
食材加工の際に捨てられる

は、新型コロナウイルス感  
染拡大などによる観光客数  
の減少を指摘。観光活性化  
につなげようと、観光スポ  
ットを巡るスタンプラリー  
の企画などを提案した。

今後は、実現可能な課題